

施策番号	332	施策名	生涯学習の推進	令和5年度主管課名	生涯学習課
総合計画 体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和5年度課長名	小原 克則
	関係課名			シート作成者	日下 隆春

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア	町民	→	ア	人口	人	見込値 12,497	12,358	11,627 12,116	11,455	11,280
イ	生涯学習施設	→	イ	町内の生涯学習施設数	施設	見込値 17	17	17	17	17
ウ		→	ウ			見込値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ア	生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらおう	→	ア	何らかの学習活動を行っている町民の割合	%	目標値 40	41	42 39.1	43	44
						実績値 40.1	42.6	39.1		
						達成率 100.3%	103.9%	93.1%	90.9%	88.9%
イ		→	イ	公民館講座受講者数	人	目標値 20,000	20,500	21,000 18,032	21,500	22,000
						実績値 11,926	17,604	18,032		
						達成率 59.6%	85.9%	85.9%	83.9%	82.0%
ウ		→	ウ	公民館利用人数(参考)	人	目標値 70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
						実績値 63,673	72,790	72,745		
						達成率 91.0%	104.0%	103.9%	103.9%	103.9%
エ		→	エ	住民一人当たりの図書貸し出し冊数(参考)	冊	目標値 10.0	10.0	10.0 6.6	10.0	10.0
						実績値 7.4	5.5	6.6		
						達成率 74.0%	55.0%	66.0%	66.0%	66.0%
⑤ 成果指標 設定の考え方	町づくりを担う最大の力は住民であり、中でも自ら学ぶ人間が実践に繋げていくために、公民館講座への参加や、文化施設の利用を通じて学習意欲が高まることを設定した。				⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	ア、町民アンケート イ・ウ・エ、公民館講座受講者・公民館利用者数・住民一人あたりの図書貸出数ともに担当課調べ				

2. 施策の役割分担

役割	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた 住民と行政との 役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・町民は、自ら学習テーマを見つけ、自主的に学習活動を行うとともに、学習成果を地域づくりに活かすよう努める。 ・地域及び団体は、学習成果や人材を活用するよう努める。 ・事業所は、町民や地域活動に協力すると共に、人材を事業活動に活用するよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習施設の整備及び適切な管理を行う。 ・関係団体と連携し、学習機会や情報の提供を行う。 ・団体が行う学習活動を支援する。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因

① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)
<p>予定していた公民館や総合文化施設、図書館などの講座や行事も予定通り開催でき、参加者も前年度より増加した。また、各地区にある公民館、文化センター、コミュニティハウス、生活改善センター等、施設の維持管理も適正に行うことができたが、施設の利用実績はほぼ横ばいである。要因としては、コロナによる規制が撤廃されたことにより活動の選択肢が増え、生涯学習活動以外の活動も活発になったことが一因として考えられる。</p>	<p>公民館講座の受講者数は微増したが、目標値には届かなかった。町民アンケートの何らかの学習活動を行っている町民の割合は42.6%から39.1%と微減、図書の貸出冊数も一昨年度より減少し、目標値を下回っている。要因としては、前述のとおりコロナによる規制が撤廃され、活動の選択肢が増えたことが一因としてあると思われる。しかし、文化協会主催の夏期文化講座の参加者は定員の100名に達し、前年度の51名を大きく上回り、ペスタロッツ館で開催したファミリーコンサートも84席が完売になるなど、単発の行事の成果は向上している。これらのデータから、継続的に学習活動を行っている町民は減少傾向ではあるが、散発的に学習活動を行っている町民は多く、町の生涯学習事業に対する町民の関心は高いことがうかがえる。</p>	<p>近隣の公民館は、真庭9、美作5、美咲3、勝央1、久米南1。このうち公民館の常勤職員が配置されるのは美作市のみであるが、町内の公民館は公民館ごとに常勤の職員を配置し、それぞれの館で教室・講座を開催している。また、図書館は令和5年度岡山県公共図書館調査川によれば、貸出カードの人口割合の登録率は鏡野97.4%、勝央84.8%、美咲82.3%、久米南193.3%、奈義109.0%、一人当たりの貸出冊数は鏡野6.6冊、勝央6.4冊、美咲4.5冊、久米南10.1冊、奈義4.7冊で、鏡野は近隣よりも比較的高い。要因としては、地域住民及び近隣自治体からも利用しやすい立地条件にあり、蔵書数、設備、行事等が充実していることが考えられ、公民館等も含め近隣自治体と比較して学習機会を提供できる体制が整っているといえる。</p>
<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回る	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準

5 年度
の
評価結果

2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国策の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など

講師や文化協会などの関係団体構成員の高齢化により学習活動が困難な状況になりつつあるため、人材の確保や若い世代による学習参加の機会が重要となってくる。文化協会や婦人会などへの補助金も減額されつつあり、値上げの要望もあるが、諸団体も会員の減少や活動実績も減少しつつある。また、施設も老朽化が進んでいるため、随時改修工事を行っているが、今後は図書館、文化施設の指定管理制度の導入を視野に入れた適正な管理が必要となってくる。

3. 施策の振り返りと総括 (5年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)

① 施策の成果向上につながった主な事務事業	香南公民館臨時管理費・社会教育学級開設費
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	ペスタロッツ館経常管理費・図書館経常管理費
③ 施策全体の振り返りと総括	
<p>施設の整備・改修事業の実施により、町民が利用しやすい環境を整えることができ、かつ照明のLED化により光熱費を抑えることで経費節減につながっている。ソフト面では、夏期文化講座やペスタロッツ館のファミリーコンサートなどが良い成果を挙げている。一方で、文化協会や公民館教室の構成員の高齢化や減少が顕著になりつつあり、若返りや増員に向けた方策を検討する時期にさしかかっている。ペスタロッツ館・図書館については、改修工事後も良好な管理が行われており、ハード、ソフトの両面とも充実しつつあるが、開館時間の延長や、祝日の開館など、町民からの要望に応えるには現在の体制では限界がある。効率的な管理運営を行うためにも、指定管理の導入が望ましい。</p>	

4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)

① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業	社会教育学級開設費
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向	
<p>令和5年度の取り組みにより、散発的に学習活動を行う町民、町の生涯学習活動に関心を持つ町民が多いことが予想できた。今後はこうした町民の学習意欲をさらに向上させるような講座や行事を計画し、広く町民に参加を呼びかけ、文化協会への入会や公民館講座への参加など、継続的な学習活動を行う町民を増やすことが理想である。また、学習環境を整えるためにも、老朽化した施設の改修工事や指定管理の導入が必要であると思われる。</p>	